

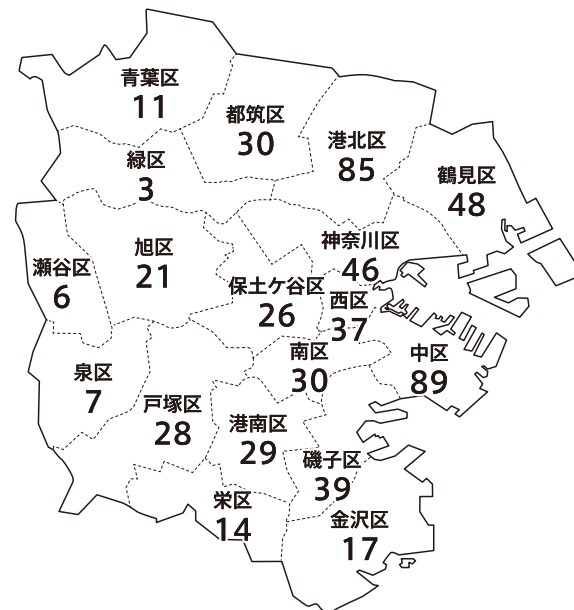


- ◎JR京浜東北根岸線石川町駅 元町口下車 徒歩約7分
- ◎横浜市営地下鉄線 伊勢佐木長者町駅下車 徒歩約18分
(西門入り口までの所要時間。西門は平日の登下校時のみ開門)

 **YOKOHAMA JOGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL**
横浜女学院中学校 高等学校
〒231-8661 横浜市中区山手町203番地
TEL:045-641-3284 FAX:045-651-7688
<https://www.yjg-y-gakuin.ed.jp/>



在校生徒通学区域



神奈川県内	730名
横浜市内	567名
横浜市外	163名
神奈川県外	71名
東京都	70名
静岡県	1名
総合計	801名
〔在籍生徒数 (中+高)〕	

2025年5月現在



Seek the highest.

広く知り、深く学び、高みをめざして。



YOKOHAMA JOGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
横浜女学院中学校 高等学校

2025年度文部科学省DXハイスクール採択校
ユネスコスクール・キャンディデート校

2026
GUIDEBOOK



6領域12のコンピテンシー

6年間かけて育む資質を12の項目に

育成したい生徒像に近づき、激動の世界を生き抜く力を身につけるために、生徒・保護者と教職員を対象として「6領域12コンピテンシー」を設定しています。策定にあたっては、教科教員の他、聖書科主任や共生教育担当、カウンセラーで委員会を構成。6年間かけて育みたい資質を、一人称・二人称・三人称の視点と、知る段階と行動する段階に整理。項目は言葉の強さや温度感も吟味しながら決めていきましたが、たとえ一つもできなくても大事に育ってほしいとの願いを込めて、「自らを大切にすることができる」を最後のピースとして完成しました。

自分

行動する

自ら行動する

何事にもチャレンジすることができる

自らを律し、コントロールすることができる

知る

自らを知る

自らを振り返ることができる

自らを大切にすることができる

隣人

隣人を愛する

他者と協働することができる

他者に手を差し伸べることができる

隣人を知る

多様性を尊重することができる

対話することができる

世の中

世の中に働きかける

「当たり前」を疑うことができる

改善策を考えることができる

世の中を知る

何事にも興味・関心を持とうとする

情報を整理することができる

〔育成したい生徒像〕

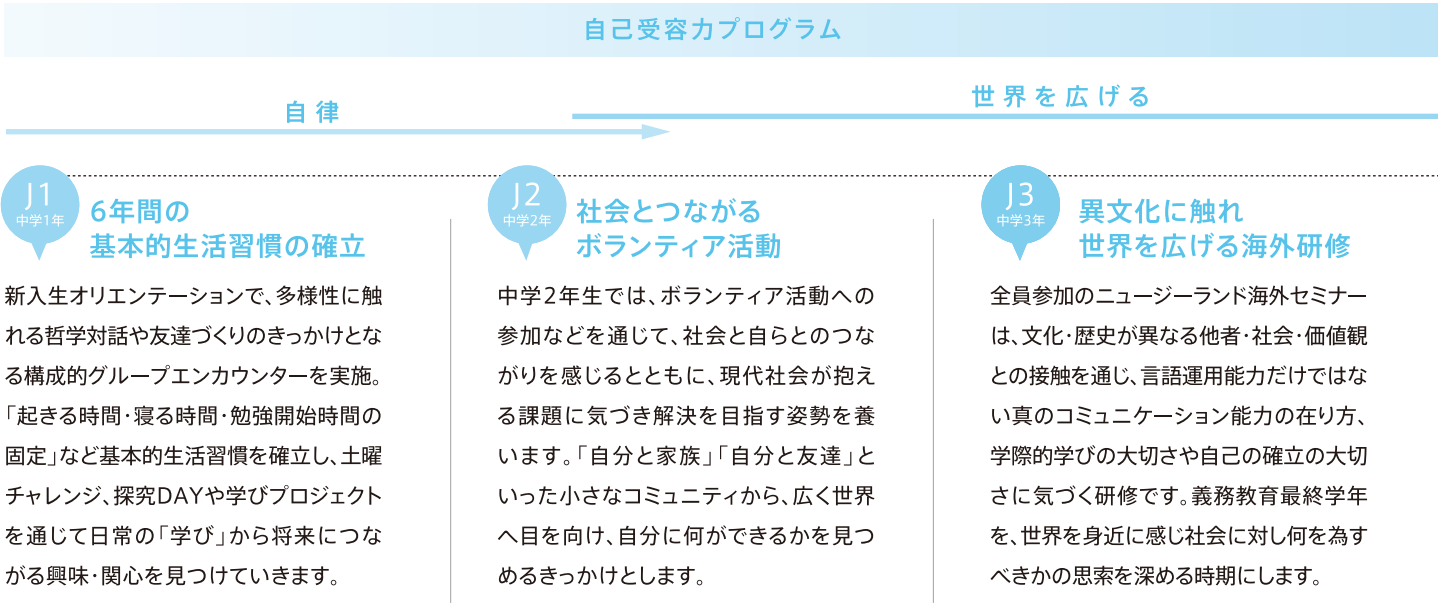
神様と人に愛されている
存在として、
自己受容力を高め、
多角的かつ
グローバルな視野をもち、
社会貢献を果たすことが
できる生徒





学年ごとに大切な学びと経験を重ね、
自分らしい未来を拓く力を育てます。

6年間の教育ステップ

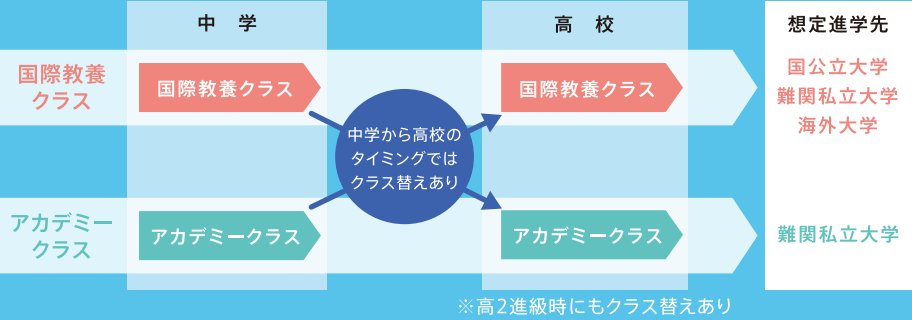


壁のない職員室

心に障壁をつくらないという本校の基本を象徴する職員室。生徒は自由に訪れて質問をしたり相談をしたり、教員も一つの空間に机を並べ、生徒一人ひとりを見守ります。

6年間の流れと進路イメージ

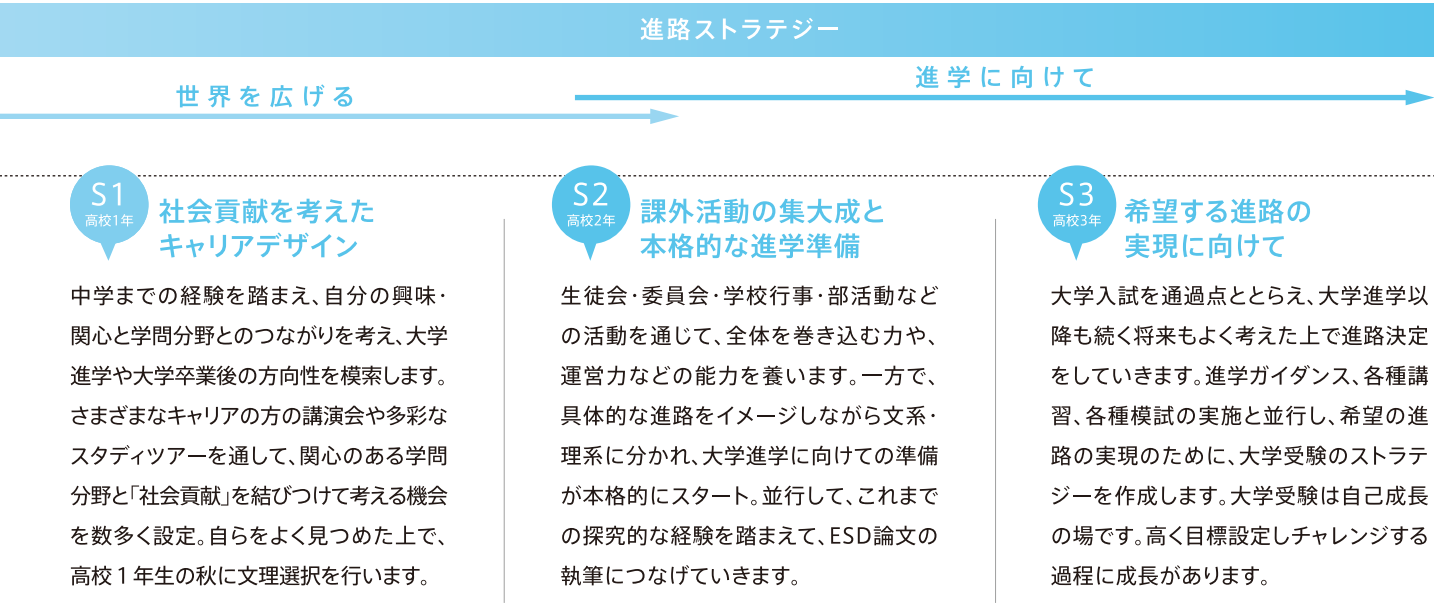
一人ひとりの個性と才能を伸ばす2クラス制で、可能性を追求。関心領域を見極め、将来像を描き、志望する大学合格を実現します。



現在・未来・世界に触れる宿泊行事

経験や学びを友と共有する宿泊行事は、自分を知り世界を広げる活動を横軸に、現代の課題を見つけ未来を考える活動を縦軸とする密度の高いプログラムで実施しています。

- 中1 ― キリスト教や友と出会う八学会
- 中2 ― 英語で行う八学会
- 中3 ― 世界を広げるニュージーランド海外セミナー
- 高1 ― 日本や世界の今と向き合うスタディツアー
- 高2 ― 過去を知り、今を見つめる京都・広島総合セミナー
- 高3 ― 生きる意味、未来について語り合う八学会



国際教養クラス



詳しい内容は
こちらから
ご覧ください

国公立大学や海外大学進学を視野に
教科学習や探究を「英語」で実践。

英語に特化した授業で、英語で理解し表現する真のコミュニケーション能力を育成。
英語に自信のない生徒でも、国際的な教養を身につけていくことができるようにサポートをします。

① 英語で考える「CLIL」

中学1・2年生で英語を基礎から徹底的に
学習、誰もが安心して学ぶことができます。
中学3年生からは、他教科の内容や世界
的な社会問題などをテーマとして英語
で学ぶCLILにより、深くそして広く英語運
用能力を高めます。

② 第二外国語

言語を通じて文化を知ること目標に、
第二外国語が必修です。中学1・2年生で
中国語・ドイツ語・スペイン語・韓国語を
学び、中学3年生からは言語やグローバ
ルスタディーズを選択して幅広い視野を
身につけます。

③ ニュージーランド海外セミナー アメリカ留学

中学3年時に、約1ヵ月間のニュージー
ランド海外セミナーに参加し、現地姉妹校
や提携校、語学学校で学びます。高校1
年時には、提携大学で学びながら価値観
を広げるアメリカ留学を、希望者を対象に
実施します。

アカデミッククラス



詳しい内容は
こちらから
ご覧ください

緻密な学習体制と多様な経験を重ねて
真の学力を培い、難関大学を目指します。

オリジナル教材や先取り学習などで学力を伸ばし、自学自習の姿勢や主体的な学習の発展をサポート。
充実した学校生活を送りながら、大学受験に向けての準備も着実に進めていきます。

① 5教科の基礎基本を徹底的に

特に国語・数学・英語の基本的な知識の
定着に重点を置き、定期的な小テストや
模擬試験で一人ひとりの到達度を確認し
ながら日々の授業を展開。つまづきは繰り
返しテストを実施したり個別にフォローを
行うなど手厚くサポートしていきます。

② 主体的な学び

基本的な事項を徹底的に学び、幅広く発
展をさせていながら、一人ひとりに合っ
た学習を進め、確かな学力を養成。自学
自習の姿勢や主体的な学習をこまやかに
サポートし、学ぶことの楽しさも実感でき
るよう導きます。

③ ニュージーランド海外セミナー

中学3年時に約2週間のニュージーランド
海外セミナーに参加し、現地姉妹校や提
携校、語学学校で探究的な学習を英語で
実施。ホームステイをふくめた多様な経
験は、自らの将来に向けた新しい発見が
できる機会になります。

横女の学び

知識や技能を習得するコンテンツと、
資質や能力を伸ばすコンピテンシーの育成はどちらも重要です。
横浜女学院でのすべての学びは
両者をバランスよく育てていくことが特徴です。

1 英語教育 English education

「英語で学ぶ」CLIL(クリル)を導入し、英語で読む、
書く、聞く、話す、そして「英語で考える」ことができる
ようになることを目指します。

→P.7～

2 グローバル教育 Global education

自己受容力やコミュニケーション能力などを土台に、
自分の世界を広げ、持続可能な社会の実現に向けて
多角的な視点と問題解決能力を養います。

→P.9～

3 探究 × ESD Exploration × ESD

「自分の軸」を見つけて深掘りし、その学びを社会課題と
結び付け、解決に向けた活動を展開。自分の成長だけ
でなく、社会に貢献する力も育みます。

→P.11～

4 理科教育 Science education

中学2年間で101を超える実験を実施し、理科への
興味関心を高めるとともに、科学的な思考力や分析力、
他者と協働する力を育みます。

→P.16～

5 教科横断 Cross-curricular

一つの事象を様々な視点からとらえ、統合して物事
を考えることができるように、各教科が積極的に教科
を横断した取り組みを行っています。

→P.17～

6 学習サポート Learning support

「自律」と「自立」を目標とし、一人ひとりの学びの
段階と目標に応じて手厚くサポート。めざす進路の
実現を後押しします。

→P.21～



英語教育

English education



英語で学ぶCLILで、世界と語る英語力を。

多様なトピックから新しい世界観や価値観を見出しながら
12のコンピテンシーと英語5技能を伸ばします。



5技能を高める英語教育

中高の6年間を通して、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を磨き、さらに英語で「考え」、他者と協力して行動できる力を育てます。実用的英語力を高めながら、多様な価値観に触れ、英語を使って何を成していくかを考える教育を行っています。そのために、単語、文法などの理解はもちろん、コミュニケーションのツールとして英語が使えることを目指し、初歩から手厚く、着実に英語が使えるように指導をしています。もともと英語が得意な生徒には、「アドバンストクラス」でさらに英語力を高めていく授業を展開しています。



英語を学ぶのではなく、英語で学び考える **4つのC**



Content

教科・テーマ学習



Communication

言語の学びと言語の使用



Cognition

高次思考力



Culture / Community

異文化理解と協働学習



高校3年 松田 理未

CLILで得た知見と経験により、臆せず挑戦できる私に。

CLILは、世界中の様々な事象をテーマに思考する時間。生徒が自発的に発言することで成立する授業で、英語を日本語に変換することなく、聞き取り思考し表現する力が養われます。海外の文献を調べ、英語のダイレクトな表現を読み取って世界観が広がり、'英語で'学ぶ楽しさを知りました。同時に、日本語で調べ

た情報と異なることも多く、「当たり前を疑う」大切さに気づき、多角的に物事をとらえる必要性を学ぶことができました。CLILを通じて様々な知見を得て、発表の経験を重ねたことで、臆せずに挑戦する力が身についたと感じます。高校2年時にはベルリンでの模擬国連に参加し、貴重な経験ができました。

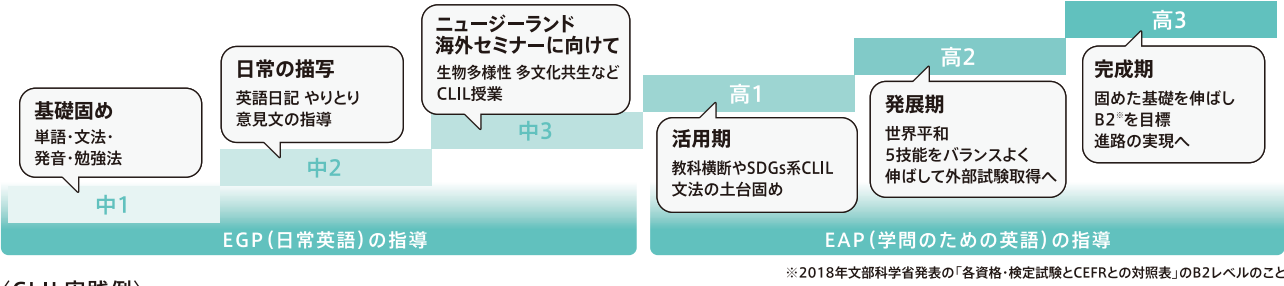
教科を横断して英語で学ぶ「CLIL」

CLILとは、教科学習と英語学習を組み合わせる学ぶ体験的な学習法です。様々なテーマについて教科を横断して学ぶCLILを通して、「読む」・「書く」・「聞く」・「話す」の4技能に「考える」を加えた英語5技能が大きく向上。大学入試や海外大学進学にも十二分に通用する英語運用能力が自然に身についていきます。

英語で思考し行動を起こす取り組み

CLILの授業は「12のコンピテンシー」を指針に、グローバルトピックにアプローチします。単なるオールイングリッシュの授業ではなく、一つのテーマを深く掘り下げ、英語で思考し行動を起こす取り組みが特徴で、世界の見方を変えていく発見に満ちた時間です。その成果を学会等で積極的に発信し、CLILの普及に協力しています。

国際教養クラスのCLILを中心とした英語指導



※2018年文部科学省発表の「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」のB2レベルのこと。

〈CLIL実践例〉

中3 マオリ族との共生をヒントに、日本における多文化共生について自分たちができることを考えて実行する。	高1 英語で絵画鑑賞して情景描写の方法を学び、感想をシェアしながら美術的なものの見方を身につける。	高2 日米の教科書を比較し、歴史観の違いや平和構築を批判的に考察する。
---	---	---

英検合格サポート

夏期講習などの長期休暇中の各級英検対策講座のほか、部活動後にも参加できる「ナイト講習」を自習室で実施。「空欄補充と暗記のコツをつかもう!」や「長文の読み方のコツ教えます」「ライティングをマスターしよう!」など、毎回ポイントを絞って開講しています。

級	割合
準1級	6%
2級	30%
準2級	38%
3級	22%

中3までに
準2級以上合格
74%

※2023年度国際教養クラス中学3年生

アドバンストクラス※国際教養クラスのみ

入学時に一定水準(英検準2級～3級程度)以上の英語力を持つ生徒を対象に行われる少人数制の授業です。ネイティブの教員による4技能を鍛える授業と、日本人の教員による文法などの基礎力を養う授業により、さらなる英語力の向上を図ります。



中学2年 萩原 真碧

アドバンストクラスで、英語や英会話の楽しさを実感。

小学生の時から英語が好きで、英検にもチャレンジしていました。どちらかといえば'書く英語'でしたが、横女に入学後はそれが一変。英語を話す機会が多く、話せば話すほど楽しくなり、英語に対する意識が変わりました。アドバンストクラスは少人数制で、自分の意見を積極的に発言する明るく元気なクラス。週に2

時間ネイティブの先生の英会話の授業があり、最初は不安もありましたが、1年間で、相手が話していることを理解し、自分が知っている単語で文を作り伝える力が伸びました。今後は英語で考えられるように練習し、NZ海外セミナーでは外国の方々とコミュニケーションを楽しみたいと思います。



グローバル教育

Global education



異文化と出会い、アイデンティティを確立。

世界の人々と出会い、自分を知り、共に生きる喜びを実感。
失敗を恐れず挑戦し、将来の夢を見つける機会にします。



中3 ニュージーランド海外セミナーについて

中学3年時に全員参加で実施。ホームステイをしながら語学学校に通った後、姉妹校・提携校にて英語での発表や協働学習、ニュージーランドの雄大な自然を感じるアクティビティなどを行います。多彩なプログラムで異文化に触れ、人々と交流し、セミナーの期間中に生徒たちは大きく成長します。

多彩な国内・海外セミナーや留学制度を設定

● 海外セミナー

名称	学年	期間
ニュージーランド海外セミナー	中3 (全員)	国際教養クラス 7・8月(約30日間) アカデミッククラス 8月(12日間)
アメリカ海外セミナー	高2 (希望者)	7月(16日間)
ヨーロッパ海外セミナー	高2 (希望者)	7月(14日間)

● スタディツアー(台湾・ブータン) → P.15

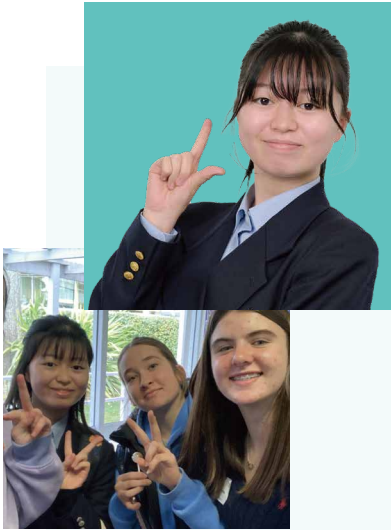
自分との出会い、人との出会い、世界との出会い

横浜女学院のグローバル教育の第一歩は「自分を知る」こと。自分自身を深く理解し、ありのままの自分を受け入れる自己受容力を高めることで、他者の個性や価値観を受け入れる土壌を育みます。次に、自分を愛するように「隣人を愛する」こと。自分とは異なる考えや文化をもつ人を理解し尊重し、協力して生きていけるよう、コミュニケーション能力や協働性を身につけます。そして「世界を広げる」こと。自己受容力やコミュニケーション能力などを土台に、チャレンジし続けるしなやかな心を育み、自分の世界を広げ、持続可能な社会の実現に向けて、多角的な視点と問題解決能力を養います。海外研修の機会だけでなく、横浜女学院で行われるすべての教育活動がこれらの資質の育成につながっており、「6領域12コンピテンシー」に基づいたグローバル教育を展開しています。

【中3 全員参加】ニュージーランド海外セミナーを経て 海外セミナー・留学

● 留学 希望者には選考試験を実施(アメリカ海外留学を除く)

名称	学年	期間	現地校
アメリカ海外留学 (国際教養クラスのみ)	高1 (希望者)	5～7月(12週間)	カリフォルニア・ バプテスト大学
ニュージーランド 交換留学	中3・高1 (希望者)	1月～3月(6週間)	ランギルル・ ガールズ・スクール
ニュージーランド 中期留学(12週間)	中3・高1 (希望者)	1月～4月 4月～7月 7月～10月 10月～12月	ランギルル・ ガールズ・スクール
ニュージーランド 中期留学(24週間)	中3・高1 (希望者)	1月～7月 4月～10月 7月～12月	ランギルル・ ガールズ・スクール
ニュージーランド 長期留学	中3・高1 (希望者)	1月～12月上旬	ランギルル・ ガールズ・スクール



高校1年 塚本 芽結

海外セミナーを経験し、国際的な視野の社会貢献が目標に。

将来のためという漠然とした意識で英語を学んでいましたが、海外セミナーを経て「英語って面白い」と純粋に思え、積極的に学ぶようになりました。滞在中はスピーチコンテストで優勝したり、環境への意識の高さに驚いたり、マオリ族の生活に触れるなど貴重な経験ができ、様々なことを考えさせられました。多様な

文化的背景を持つ人々が暮らすニュージーランドでは、違いを受け入れ楽しむ姿が自然で素敵でした。私も学校や地域の中で相手の価値観を大切にしながら、自分の意見を伝えられるようになりたいと思います。そして、国際的な視野を持って社会貢献できる仕事に就きたいとの思いも強くなりました。

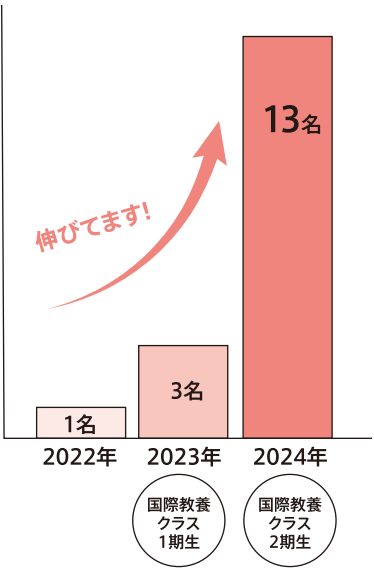
模擬国連に参加し国際会議を体験

ドイツ・ベルリンで開催されたBERMUN (Berlin Model United Nations)に、本校から4名が参加。25カ国以上の国の学生が、割り当てられた国の代表として国際問題について議論を行い、決議案を作成するなど、国際会議のシミュレーションを体験しました。



海外大学進学

〈 海外大学合格者数 〉



〈 海外大学進学オリエンテーション 〉

生徒、保護者対象に、海外大学に進学するにあたって、出願や書類の作成、奨学金の手続きなど、何をどのように進めていくのか具体的な説明を行います。海外大学に進学予定の卒業生から、実際の準備の様子や受験対策などについて話を聞く機会にもなっています。

〈 海外協定大学推薦制度UPAA 〉

アメリカ15大学、イギリス18大学、オーストラリア3大学の大学に共通の入学願書で出願可能なUPAAに加盟。マンチェスター大学(世界大学ランキング53位)などの上位大学も含まれます。国内の大学が第一志望の受験生にも多様な進路選択が可能になります。

第二外国語

英語以外の言語を通じて異文化に触れ、世界への視野を広げていきます。

言語を幅広く学ぶことで、言語を通じてその国の文化に触れ、国際的な視点を養います。本校ではドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語を第二外国語として学び、食べ物や教育など多様なテーマで世界の人と交流する楽しさを体験します。

- 中学1・2年/ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語を学びます。さまざまな国の言語を通して、文化などを学びます。
- 中学3年/ドイツ・スペイン・中国の中から1つを選び、より深く学びを進めます。大学生のチューターによるグローバルスタディーズも選択できます。
- オリジナルのテキストや映像を活用し、文化や歴史にも触れます。

主な授業内容

中国講座

- ・中国語について
- ・中華料理について
- ・中国で縁起の良いものについて

ドイツ講座

- ・ドイツの学校について
- ・ドイツの料理について
- ・ドイツの伝統的なお祭りについて

スペイン講座

- ・スペイン語圏について
- ・スペイン文化とメキシコ文化について
- ・メキシコのお菓子について

韓国講座

- ・韓国語で自己紹介
- ・韓国ドラマについて



高校3年 石井 志歩

模擬国連で感じた問題意識や観点を、今後の活動に活かす。

CLILや歴史の授業を通して国際関係に興味があり、他国の同世代と英語で議論を交わし、理解を深めることを目的にBERMUNの模擬国連に参加しました。私はイラクの大使として、開会式では400人を前にスピーチ。委員会で情報格差や移民問題など多くの問題を抱えたイラクの立場で議論していると、日本人の自分が

どんなに恵まれているかを痛感。と同時に、参加者は北欧の白人がほとんどという環境で語られる「多様性」に強い違和感を抱いたり、多数決の場で大国同士が結託して他国を動かす現象に実際の国際会議を想像して問題意識を持ったり…。これらは横女で学んだ批判的思考から得られた気づきだと思います。



探究 × ESD

Exploration × ESD



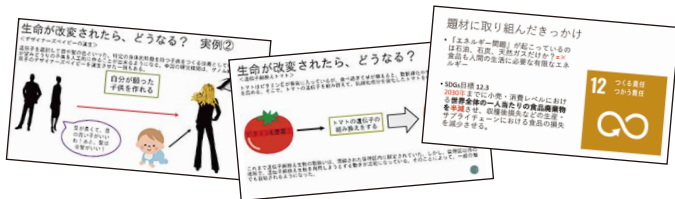
自分・他者・世界を知り、使命を考える。

体験と知識を基に思考し行動する資質を磨き、
自らの学びの軸や社会的使命を見出していきます。



問題解決型思考力を養う「ESD」

世界の課題を自分事として考え、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能で公正な社会の創造を目指すESD。本校は2018年から学年に応じたプログラムで探究活動を実施。地元や国連機関・NPO団体などでのフィールドワーク、発表、論文作成を行います。



各学年のESDの取り組みと身につけたい力

学年	テーマ	活動内容	身につけてほしい力
中学1年	SDGsを知ろう! みんなの考えを聞いてみよう!	SDGsを知る 意見交換をする	話を聞く力 伝える力
中学2年	実際に体験してみよう! 自分をより知ろう!	ボランティア活動	調べる力 自ら動く力
中学3年	グローバルな視野を持とう!	NZ海外セミナー	視野を広げる力 関連付ける力
高校1年	自分の興味のあることは何だろう?	論文の題材集め 書き始め	知る力 深掘りする力
高校2年	自分の興味のあることをまとめよう!	論文の完成	力を発揮する力



中学2年 椎屋 円

世界の見方、感じ方を変えてくれた哲学対話。

何事にも正しい答えがあると思っていましたが、哲学対話を通して、人によって考え方が違うのは当たり前だと思えるようになりました。世界を様々な角度から見て、答えは一つではないし自分の考えが必ずしも正しいわけではないと理解した上で、正解がないからこそ自分の考えを持つことが大切だと気付けたこと

に成長を感じます。文化祭では、中学1年の企画として哲学対話を来校したお客様や先生方に体験してもらいました。年齢や経験値によって行動や意見が異なることを目の当たりにしたり、先生方の意外な一面に触れたり、思いがけない意見も出るなど、私たちにとても多くの学びがありました。

「なりたい自分」を見つける 土曜チャレンジ

各教科の学びと実社会のつながりを感じ、なりたい自分を見つけていくことを目的として開講しています。講師は社会で活躍する卒業生や保護者の方々、大学の先生に協力いただき、幅広いテーマで実施。生徒は自由に選択して参加します。



〈4月の土曜チャレンジ講座 実施例〉※毎月異なる30以上の講座が開かれます

江戸の人は何を考え現代とどのような差異があるのだろうか	保育プチ体験 ～遊びを通して保育の魅力を実感しよう!	“好き”を社会学する(“推し”から見る現代) 「洋菓子を作ろう」
美術館でファッションの展覧会を企画する	エステティックのプロが伝授!ハンドマッサージを通してビューティーテクニックを学ぼう	「対話チャットbot」をつくろう!
子どもの絵を見て対話する楽しいワークを体験しよう!		「古代英語ってどんな言葉?」
「身近なマイノリティについて知る-多文化共生社会実現のために」	二つのハリー・ポッター: イギリスとアメリカの文化の違いを知る	K-POPダンス ダンスを楽しく体験しよう!
「仏教」とは何か 我々にも身近な仏教を知ろう	「科学と統計で明らかにする分子と生命の世界」	ベルの変身、野獣の変身、18世紀フランスから21世紀までの美女と野獣の物語
「経営学・マーケティングの基本!」	経済学で人口減少問題を考える	「俳句のスズメ!十七音の中に深い思いをこめて表現できる世界を楽しみましょう」
私たちの生活に欠かせないマーケティング	楽しいから学べる薬学	はじめてのヨガ 癒しと健康を味わってみよう
食生活でむし歯と歯周病を予防する方法を探る	環境制約下における心豊かな暮らしのデザイン	「人身取引について」
「身の回りの工学:スマホから橋梁まで」	ツーリズム業界について ～インバウンドと観光業のみらい～	テレビ局で働く～アートディレクターの仕事～
社会イノベーションとは何か?-地域の政策から考える-		
温泉観光学入門-温泉の正しい知識と効果的な入り方	「プラスチックは悪者なのか?」	「ウクレレと音楽で持続可能な社会へ
スペイン語の扉を開いてみよう	「医工学連携による本当に必要なモノづくり」	貢献する私の考え方」
勉強法の科学	天使論～キリスト教における天使とは～	デッサン体験「リアルなデッサンを描くコツ!」

内面を見つめ多様性に触れる 哲学対話

探究活動の源として「哲学対話」を中1・高1で実施。安心して議論できる場で、問いを深め、自分の意見を言語化し、友達の意見に耳を傾けることは、自らの内面を見つめ多様性に触れる貴重な経験になります。その気づきをより深い学びに発展させていきます。

学ぶワクワクを体感する 探究DAY



中1・中2の希望者を対象にした「探究DAY」は、本校の教員が興味関心のあるテーマで開講する講座です。生徒に直接ワクワク感を伝え、学ぶ楽しさを体感してもらおうという企画。毎回、思いがけない発想や発見があり、生徒たちにも人気です。

〈実施例〉

- ディズニーのプリンセスから学ぶ女性像の変化
- 漫画のスラムダンクを英語で読んでみよう
- 横浜地方裁判所で裁判傍聴
- 桃太郎電鉄で地理を学ぼう
- 震災とサメ肉バーガー
- 羽田空港ANA機体工場見学
- 新約聖書の原語ギリシャ語入門
- キリスト教音楽の世界観に触れるなど

挑戦と学びを共有する Assembly

P.13～14では、生徒がスタディツアーで探究してきたことをAssemblyで発表した内容の一部を紹介します。

「集会」と「一つのことを合わせる」という意味を持つAssembly。活動内容の発表と同時に、その活動に対する思いや学んだことを共有し、聴く側の生徒にとっても現在の自分、そして未来につなげていく機会になっています。 → 次ページへ



学会発表に至るまでの過程や、学会の場の空気感だけでなく、挑戦をすることが新しい出会いや学びにつながることを、全校生徒に共有。

日本水環境学会に所属し、これまでの取り組みをポスターセッションで発表。同学会で高校生が発表するのは初めてのこと。

Assembly ～チャレンジを共有する～



校内の装置で作り出したメタンガスを使ってお湯を沸かし、ココアを販売しながら研究の成果を発表。

東北大学多田千佳先生より生ごみからエネルギーを作り出す研究についての講義を受け、学校にメタンガス発生装置を導入。

高校3年 車 香穂

鳴子での出会いが、校内研究、学会参加に発展。

鳴子スタディツアーで東北大学の多田先生と出会ったことがきっかけで、校内に装置を導入し、生ごみからメタンガスを発生させる研究が始まりました。試行錯誤の末に成功し、文化祭ではそのガスでお湯を沸かしてココアを販売。Assemblyで、約半年間の研究を全校生徒に共有しました。その後、多田先生の紹介で

北海道大学での日本水環境学会に参加。高校生の参加は初めての大きな学会で準備にも苦労しましたが、大学教授や企業の方など幅広い方が興味を持ってくださり、助言や質問など研究者の方々との交流は刺激的で楽しいものでした。学会に好印象を持って、理系に進む私は期待を感じ励みになります。



『議論の前にまずは行動』。ツシマヤマネコの個体数減少の一因である耕作放棄地の増加。その耕作放棄地を開墾した。

絶滅危惧種であるツシマヤマネコの生態について調べるために、糞を分析。

対馬から韓国・釜山を眺める。一見きれいに見えるこの海に、たくさんの海洋ゴミが漂っている。

海洋ゴミを拾いながら、その種類や書かれた言語に様々な思いや疑問があふれる。拾ったゴミのほとんどは再利用できない。

世界には体験してみないと分からないことがたくさんあり、挑戦や体験を通じた出会いが未来の選択肢を増やすと伝える。

高校3年 三橋 恭子

環境問題における私たちの世代の役割を痛感。

Assemblyで語られた先輩方の活動に刺激を受けて、課外活動を始めました。もっとも印象に残った活動は対馬スタディツアーです。海洋ゴミ問題について説明を受けた際に、他の国との関わりなど自分の視点だけでは見えないものがたくさんあることを知り、多くの視点から考えられるようになりました。環境問題に

おける私たちの世代の役割を痛感し、進路も決めました。Assemblyの発表では、中学高校時代にスタディツアーに参加し経験を積むことの大切さを伝えることを意識し、わかりやすく発表することに挑戦。一人でも多くの後輩が行動に移すきっかけになるようにと願いながら発表しました。



教科横断

Cross-curricular



枠にとらわれず、本質を見極め活用する力を。

教科を超え、学びを関連づけて活用する経験を、ふんだんに。
多様な視点から考察し、論理的に思考する力、協働力を育みます。



知識を結びつけ活用する教科横断型授業

同じテーマを各教科の視点から考察することにより、多様な見方考え方ができるようになり、他教科の学びを関連づけ活用することで学びが深化します。また事象の複雑さを考察できる力や本質を見極める資質も身につきます。このように論理的思考力を高め、他者と協働しながら主体的に学びと向き合うことを目的として、教科横断型授業を実施。日経STOCKリーグなど、校外活動にも積極的にチャレンジしています。

授業内容例

中学2年 「源平合戦(壇ノ浦の戦い)」

〈社会〉
史料を読み解き、史実をしっかりと認識

〈国語〉
軍記物語のフィクション性、作者の制作意図を考察

〈理科〉
当日の潮流変化、義経の行動は物理的に可能かを検証

中学3年 理科×美術

「学校の中の困りごとをものづくりで解決」をテーマに、ユニバーサルデザインについて学び、その観点で道具をデザイン。さらに、理科的な視点から道具の用途と素材の関係について考察。コンペを開催し、優勝した生徒がデザインした道具を校内の3Dプリンターで印刷しました。

高校3年 化学×英語

タンパク質やアミノ酸の構造や性質などについて学習する化学と英語のコラボレーション。「プロテインクライシス(タンパク質危機)」に関する英語の文章を読み、その問題点や背景などについて調べ、意見を交換。解決のために求められることを考えます。

高校2年 「金融教育」

〈公共〉
経済や金融を知り、市場の動きや金融商品に影響する事柄について考察

〈家庭科〉
過去の値動きに基づいたシミュレーターで「資産形成」を体験、マネープランを現実的に考える

高校2年 世界史×美術

世界史探究では、「19世紀欧米文化と現代文化にはどのようなつながりがあるか。絵画を通して考えよう」というテーマで授業を展開。時代の変遷と絵画の特徴の移り変わりを学ぶと同時に、描かれているものや色使いなどから、技術革新や画材の変化など当時の歴史的な背景を読み取る活動も行いました。

高校1年 家庭科×英語

高校1年のCLILにて、家庭科との教科横断授業で「clothing life」をテーマに授業を展開。世界の様々な民族衣装を導入として、和服文化や自分の衣生活、そしてファストファッションとサステナブルファッションについて、家庭科教員が簡潔にレクチャーをしつつ、自分たちの考えを英語で表現し共有しました。

国語

3つのコンピテンシーを支える言語力の養成

複雑化する社会の中で求められる3つのコンピテンシー(「相互作用的に知識・技能を用いる」「異質な集団と交流する」「自律的に活動する」)を支える言語力を養成。分析的な批評を繰り返すことで育成した読解力＝思考力を核とし、相手の考えを聞く力、伝える力、話し合って合意を形成する力を身につけます。

教科の特色

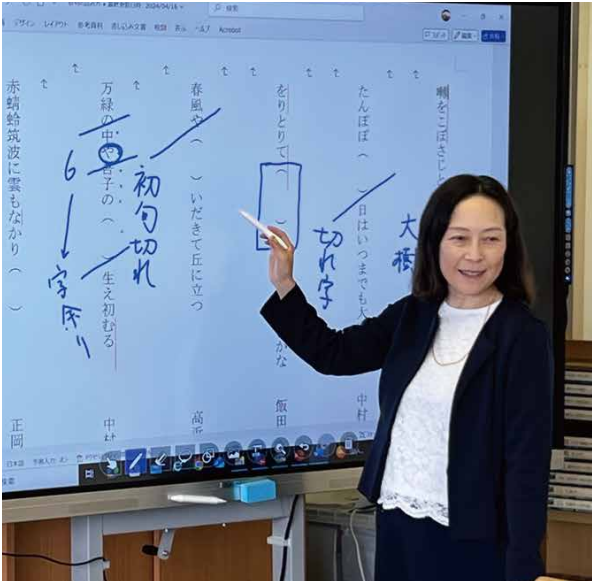
■ 分析的な批評を実践する双方向的な授業

作品や課題文を分析的に批評し、双方向的な議論を行いながら、読解力を養成。「書く力」「話す力」「聞く力」においても同様に、「こだわり」ある授業を実践します。

■ リーディング・ワークショップ(国際教養クラス)

米の教育者ナンシー・アトウェルの実践にならい、週2～3時間メディアセンターでリーディング・ワークショップを実施。自らの「読み」を振り返りながら、古今東西の文学作品を自分で選び、読み続けることで高い読解力を培い、「自分たちが出ていく世界について、何百冊もの本を読む中で出会った考え、言葉、歴史、時事問題、人間の経験、場所について知っている人として、世界に出て※」いきます。

※『イン・ザ・モデル』より引用



数学

「考える練習」をする授業

ある事柄について考えた経験のない人は、新しい問題に直面したときに考える方法や問題解決の方法の見当がつかません。授業を通してたくさん考える練習を重ねて、考える力を身につけていきます。

教科の特色

■ フォロー体制

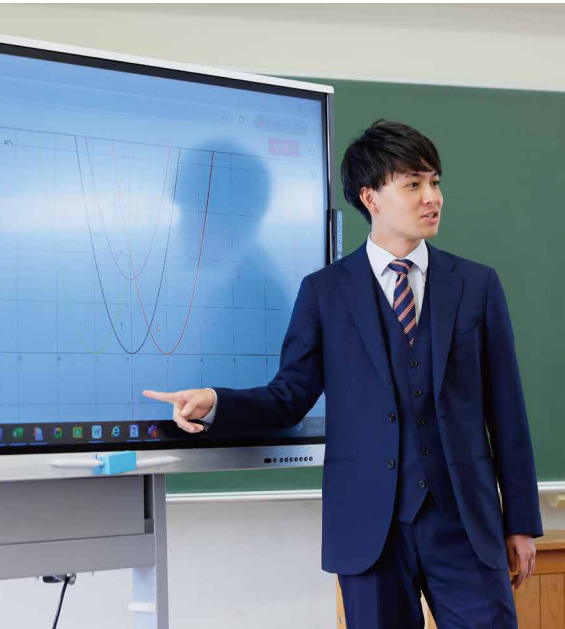
中学生には、不明点を残さないよう個別にフォローし、基礎基本の定着を促します。中学3年生からは、長期休業期間中にレベルごとの講習を開講し、自分の力に合った演習に取り組むことができます。

■ 習熟度クラス

中学3年生・高校1年生は習熟度別のクラスとし、数学の苦手な生徒のフォローも数学が得意な生徒の力を伸ばすこともできる授業を行っています(コースや文系理系のクラス数によっては高校2・3年生でも実施)。

■ 数学検定の校内受験

年2～3回、数学検定の校内受験を行い、数学が得意な生徒にとっては先取り学習の目標として、数学の苦手な生徒にとっては復習の機会として活用されています。毎年、先取りの級を受験する生徒がいます。



社会

「think」「judge」「reflect」「act」

「新しい時代が要求する教育」を取り入れて、日々研究を重ねています。日本や世界の社会、経済、歴史、地理、現代社会を正確な情報源を使って客観的に分析し、可視化しにくい体系、構造、秩序、力学、相互作用などを認識することができる授業を目指しています。

教科の特色

■ 可視化しにくい知識を概念的に理解

実践例①〈高1 歴史総合〉タブレット端末を用いて20世紀前半の英国の政党政治を疑似体験するゲーム(本校オリジナル教材)を実施。政権運営が社会にもたらす力学、相互関係など歴史分野の枠を超え、現代社会にも通じる政党政治のしくみを学びました。

■ 「当たり前」を疑う観察眼を育む

実践例②〈中2 社会〉思考実験「無知のヴェール・ゲーム」を実施。生まれる前の状態、つまり国籍も家族も地位も何もない状態を想定して「公正な社会とはなにか」を考えた後、国籍や収入、社会的地位などが書かれたカードの人物に生れ落ちた想定で、同じ問いを考えました。多くの人の意見が変わったことから公正な社会をつくることの大切さと難しさを学びました。



聖書

聖書と生き方を考える

本校の根幹をなす聖書の授業では、「自分は神さまに愛されているかけがえのない存在」だと気づき、真理を探究する態度を育成。聖書の教えを知り、自分を見つめ、他者の考えに触れながら、「神さまを愛し、隣人を自分のように愛する」生き方を考えていきます。

情報

情報社会を生き抜く力を養成

1人1台のパソコンを使い、情報活用能力を実践的に育成します。メディアリテラシーを重視し、情報の真偽を判断しつつ意見を論理的に発信する能力を養成。情報機器の操作技術や問題解決、コミュニケーション力を向上させ、情報社会を自らの力で安全に生き抜くためのスキルを身につけます。

保健体育

人を思いやる心と体をつくる

“できる喜び”と安全な授業に留意し、運動技能の獲得だけでなく、個人の到達度やグループ活動での自己の役割を意識する活動を行います。その取り組みの一つに体育祭があり、力を合わせることの大切さを学んでいきます。

家庭

実践的な学びと探究的な挑戦

聖書・讃美歌のカバーの制作、浴衣制作と着付けなど実践的な学びを行います。高校生では創造力や探究心を高める目的を掲げ、全国家庭科ホームプロジェクトコンクールにおいて私立学校で唯一の学校賞を受賞、日経STOCKリーグでは審査委員特別賞を受賞するなど、輝かしい功績を残しています。

芸術科

情操教育を大切にした授業

○音楽

毎朝の礼拝での讃美歌や本校の三大行事の一つであるコーラスコンクールに向けての取り組みで自分を表現することを学び、情操教育を大切にしています。

○美術

陶芸や彫刻、ブッシュステンドなど様々な素材や画材に触れつつ、クリスマスや教会にちなんだ作品制作にも取り組み、ものづくりの楽しさを体感します。

■ 2025年度 教育課程〈コマ数表〉

	国際教養クラス			アカデミッククラス		
	中1	中2	中3	中1	中2	中3
聖書	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
国語	4	4	4	4	4	4
社会	3	3	3	3	3	3
数学	4	4	4	4	4	4
理科	3	3	3	3	3	3
保健体育	2	2	2	2	2	2
音楽	1	1	1	1	1	1
美術	1	1	1	1	1	1
外国語	5	5	5	5	5	5
技術・家庭	1.5	1.5	0.5	1.5	1.5	0.5
特別活動	1	1	1	1	1	1
情報Ⅰ			1			1
総合 ESD	3	3	3	2	2	2
学習 その他	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
単位合計	29(1)	29(1)	29(1)	28(1)	28(1)	28(1)

- ()は集中授業による取得単位を表す
- 授業時間数は×3.5となる
- 1時間授業時間は、65分となる

		国際教養クラス				アカデミッククラス					
		高1	高2		高3		高1	高2		高3	
			文系	理系	文系	理系		文系	理系	文系	理系
聖書		0.5	0.5	0.5	1	1	0.5	0.5	0.5	1	1
国語	現代の国語	2					2				
	言語文化	2					2				
	現代文総合		2	1	3	2		3	2	5	
	古典探究特講		2	1			2				
	古典特講				3					5	
地理 歴史	歴史総合	1.5					1.5				
	地理総合	1.5	※2				1.5	※2			
	世界史探究		3		5			4		5	
	日本史探究		3	※2	5			4	※2	5	
公民	公共		2	2			2	2			
	倫理特講				1	1					
数学	数学Ⅰ	3					3				
	数学A	2					2				
	数学Ⅱ		3	3				2	3		
	数学B		2	2				2	2		
	数学Ⅲ					4					※4 4
	数学C					3					3
	数学ⅠA特講				2						※5 3
	数学ⅡB特講				2						4
理科	物理基礎	1.33					1.33				
	化学基礎	1.33					1.33				
	生物基礎	1.33					1.33				
	化学			3	※2	3			3	※2	4
	物理			3		3			3		4
	生物			3		3			3		4
	理科基礎特講		1		※2					※2	
	保健 体育	体育	1.5	1.5	1.5	2	2	1.5	1.5	1.5	2
保健		0.5	1	1			0.5	1	1		
芸術	音楽Ⅰ	1	0.5	0.5			1	0.5	0.5		
外国語	論理・表現Ⅰ	2					2				
	英語コミュニケーションⅠ	2					3				
	英語コミュニケーションⅡ		3	3				5	5		
	英語コミュニケーションⅢ				5	5				4	4
	CLILⅠ	1									
	CLILⅡ		2	2							
	英語特講									2	2
家庭	家庭基礎		1.5	1.5			1.5	1.5			
情報	情報Ⅰ	0.5※1					0.5※1				
ホームルーム		1	1	1	0.5	0.5	1	1	1	0.5	0.5
総合的な探究の時間		1	1	1	0.5	0.5	1	1	1	0.5	0.5
単位合計		27	27	27	25	25	27	27	27	25	25

- ()内の単位数は集中授業での履修を表す
- ※1: 中学3年で1単位修得
- ※2: どちらか1つ選択し、進級時の変更は認めない
- ※4か※5のどちらかを選択
- 高校のコマ数は現高1のカリキュラムのものです。



学習サポート

Learning support



手厚いフォローで、挑戦を後押し。

基礎固めから、志望大学合格をめざす高度な実力養成まで。
一人ひとりの目標に合わせたフォロー体制で、挑戦を支えます。

基礎の確認から、「わからない」を解消する学習支援、授業内容の補完及び
レベルに応じた応用問題や入試対策を徹底する希望者講習まで、
個々のニーズに合わせて学習を定着させていきます。



横浜女学院オリジナル手帳

自己管理能力を育む手帳活用

自己管理能力を育むために、手帳の活用を推進してい
ます。少し先を見据えた計画力を養うと同時に、自分の
生活を振り返り、「あのとき自分はどう感じたのか?」、
「なぜ上手くいかなかったのか?」などのセルフチェッ
クも可能に。「行動」と「感情」を自らコントロールする
力を身につけます。

自己管理に役立つ手帳。

中学3年 堀 未依菜

見返した時にその日のことがすぐに思い出せるような手帳に
したいと考え、重要だと感じたことを書き込んでいます。定期
試験の前には、得意・苦手な分野を理解し勉強を進めていくた
めに、一日の振り返り欄に反省点や解決策を記入。予定を立て
て自発的に振り返る習慣をつけ、自己管理に役立てています。

放課後自習室

部活と勉強の両立をサポート

- 中学生は19時まで、高校生は20時まで利用可能。
- 大学生チューター（卒業生）に質問できます。
- ナイト講習を開催（英検対策講座など）。
- 部活の後にも参加できる体制で、部活と勉強の両立をサポート。
- 軽食も購入できます。



ナイト講習

「ミニ英検を解いてみよう」、「空欄補充と暗記
のコツをつかもう」、「長文の読み方のコツ教え
ます」、「ライティングをマスターしよう」など

夏・冬・春期講習

・1講座90分×4日間(原則)

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
応用			夏期・冬期・春期講習	進学講習		
標準			夏期・冬期・春期講習	進学講習		
基礎	勉強合宿 指名補習			勉強合宿	夏期・冬期・春期講習	

[夏期講習]

学年	教科	講座名	学年	教科	講座名	学年	教科	講座名
中3	英語	基礎英文法	高2	英語	英検2級講座	高3	数学	共通テスト数学ⅡB
中3	英語	英検3級講座	高2	国語	古典講座	高3	数学	共通テスト数学ⅠA
中3	数学	数学(標準)	高2	数学	数学(標準)	高3	数学	私大数学(文理共通)
中3	数学	数学(応用)	高2	英語	難関大英文読解	高3	国語	国語入試対策
高1	国語	古典講座	高2	数学	数学(応用)	高3	数学	難関大理系数学
高1	英語	英検準2級講座	高3	英語	基礎英文法	高3	数学	難関大数学(文理共通)
高1	英語	英検2級講座	高3	英語	英検準2級講座	高3	理科	有機化学演習
高1	国語	現代文講座	高3	英語	英検2級講座	高3	理科	理論化学演習
高1	数学	数学(標準)	高3	社会	日本史B戦後史	高3	理科	熱・波動演習
高1	数学	数学(応用)	高3	社会	世界史B近現代史	高3	理科	生物思考問題対策
高2	英語	基礎英文法	高3	社会	共通テスト対策 倫理	高3	理科	力学演習
高2	英語	英検準2級講座	高3	社会	共通テスト対策 政治経済			

[冬期講習]

学年	教科	講座名	学年	教科	講座名	学年	教科	講座名
中3	英語	英検3級講座	高2	英語	英検準2級講座	高2	情報	プログラミング基礎
中3	英語	英検準2級講座	高2	英語	英検2級講座	高3	数学	共通テスト対策数学
中3	英語	英検2級講座	高2	英語	基礎文法講座	高3	数学	難関大数学理系
中3	数学	数学演習標準	高2	数学	数学頻出入試問題演習(標準)	高3	理科	理論化学対策
中3	数学	数学演習応用	高2	数学	数学頻出入試問題演習(応用)	高3	理科	有機化学対策
高1	英語	英検3級講座	高2	数学	共通テスト対策数学	高3	理科	力学・熱
高1	英語	英検準2級講座	高2	国語	基礎現代文	高3	理科	電磁気・波
高1	英語	英検2級講座	高2	国語	古典文法	高3	理科	生物共通テスト対策
高1	英語	基礎英文法講座	高2	国語	古典読解	高3	理科	生物看護薬獣医系対策講座
高1	数学	数学頻出入試問題演習(標準)	高2	理科	化学実験講座	高3	社会	政治・経済共通テスト対策
高1	数学	数学頻出入試問題演習(応用)	高2	理科	力学・熱	高3	社会	倫理共通テスト対策
高1	国語	基礎現代文	高2	理科	生物思考問題対策	高3	社会	日本史B共通テスト対策
高1	国語	古典文法	高2	社会	歴史総合・日本史探究	高3	社会	世界史B共通テスト対策
高1	国語	古典読解	高2	社会	歴史総合・世界史探究			

[春期講習]

1年間の学びの様子を見て、各教科柔軟に講習を設定していきます。

どう生きるかを見出す 進路指導

Career guidance

予測困難な時代だからこそ、主体的な学びで得た
目標を掲げて、夢を実現していきます。



中高6年間で高い学力を培うとともに、学年に応じたプログラムを通じて社会と自らのつながりを感じ、現代社会の課題に気づき解決する力を養います。世界や視野を広げ、将来どのように他に貢献すべきかを見つけ、その思いを実現していくよう指導します。具体的には、キャリア教育と進学指導の二つを軸とし、キャリア教育ではボランティア活動や講演会、ESD教育を経て自己を理解し、学びたい学問分野やその先を深く考える機会を持ちます。進学指導では、大学受験において希望が叶うよう、個々に合わせて丹念に指導していきます。

主な指定校推薦大学

難関私立大学をはじめとした豊富な指定校推薦枠があります。「行きたい大学」を目指して様々な活動に安心してチャレンジできます。

指定校推薦▼



学校名 / 指定校推薦枠					
横浜市立大学	3	成蹊大学	4	東京農業大学	17
上智大学	3	成城大学	12※2	東京都市大学	6
国際基督教大学	1	武蔵大学	3	女子美術大学	10
青山学院大学	13※1	明治学院大学	3	日本大学	3
立教大学	4	國學院大学	12	東京女子大学	25 ※2
中央大学	4	芝浦工業大学	3	日本女子大学	14 ※2
法政大学	5	麻布大学	8	津田塾大学	1
学習院大学	2	北里大学	2	東洋英和女学院大学	28 ※2

※1 キリスト教学校教育同盟推薦を含む ※2 高大連携型を含む 他多数



慶應義塾大学
総合政策学部
佐々木 来那
国際教養クラス 2025年3月卒業

学びを胸に、さらなる高みへと挑戦を続ける。

失敗を臆せず、挑戦し続けることの大切さを学ぶことができた6年間。横浜女学院には、さらなる高みを目指していける環境があります。プレゼンテーションやグループワークを通して自分にはない様々な視点に気づくことができ、生徒会活動や赤十字の国際交流会などの課外活動に積極的に参加したことで、将来やりたいことを真剣

に考え行動を起こすことができました。受験はそのような活動をアピールすることができる総合型選抜を選択。志望理由書の添削や模擬面接をはじめ、先生方にはたくさんのサポートと助言をいただきました。大学でも引き続き横浜市主催のSDGsを促進する活動に参加したいと考えています。

合格実績 2025年3月卒業生 149名

大学名	2025年	2024年	2023年	大学名	2025年	2024年	2023年	大学名	2025年	2024年	2023年	大学名	2025年	2024年	2023年
イギリス国立シェフィールド大学	2			早稲田大学	1	1		専修大学	1	2		千葉工業大学	1		
イギリス国立マンチェスター大学	2			慶應義塾大学	1	3		星薬科大学	1	1		東邦大学	2	2	1
イギリス国立エクセター大学	1			上智大学	5	2	2	横浜薬科大学		2	3	東京家政大学	1		
イギリス国立ノッティンガム大学	1			東京理科大学		2		昭和薬科大学	1	2		学習院女子大学	1		1
イギリス国立リーズ大学	1			明治大学		1	1	北里大学	2	3		聖心女子大学	3		
マニトバ州(カナダ)立マニトバ大学	1			青山学院大学	3	6	1	昭和大学		1		白百合女子大学	2	1	
西オーストラリア大学	2		1	立教大学	8	7	4	東京女子医科大学	1			清泉女子大学	2	2	1
南オーストラリア州立アデレード大学	1			中央大学	5	3	4	順天堂大学	1	2	1	共立女子大学		3	
ニューサウスウェールズ州立シドニー大学	2			法政大学	6	7	2	聖路加国際大学		1		実践女子大学	11	4	1
ハンガリー国立大学医学部		1		学習院大学	2	5	1	日本赤十字看護大学	2	1		大妻女子大学	8	1	
ハンガリー国立セントメルヴィス大学		1		国際基督教大学	1	1	1	麻布大学	1			昭和女子大学	3	2	1
チェコ国立大学		1		成城大学	2	4	7	東京都市大学	4	1	2	多摩美術大学	5	2	2
東北大学	1			成蹊大学	3	5	1	東京農業大学	2	2	2	女子美術大学	2	3	1
東京外国語大学		1	1	武蔵大学	1			玉川大学	6	4	2	神奈川大学	12	5	5
東京学芸大学			1	明治学院大学	8	5	2	桜美林大学	6	3		関東学院大学	6	7	3
東京藝術大学	1			國學院大学	6	4	2	神田外語大学		1		東海大学	4	6	8
横浜国立大学	2		1	東京女子大学	5	2	6	帝京大学	2	8	2	東洋英和女学院大学	3		1
横浜国立大学	3	3	3	日本女子大学	4	4	4	工学院大学	1		1	フェリス学院大学	6	1	2
神奈川県立保健福祉大学	2			津田塾大学	1	1	3	芝浦工業大学	2		1	同志社女子大学	1		
都留文科大学	1			日本大学	4	7	2	東京電機大学	1	1	1	立命館大学	1		
京都府立大学			1	東洋大学	4	3	1	東京工科大学	3			立命館アジア太平洋大学		1	1
				駒澤大学	1		1	東京工芸大学	1						

国公立大学 10名

東北大学 横浜国立大学 横浜国立大学
東京芸術大学 神奈川県立保健福祉大学
都留文科大学 など

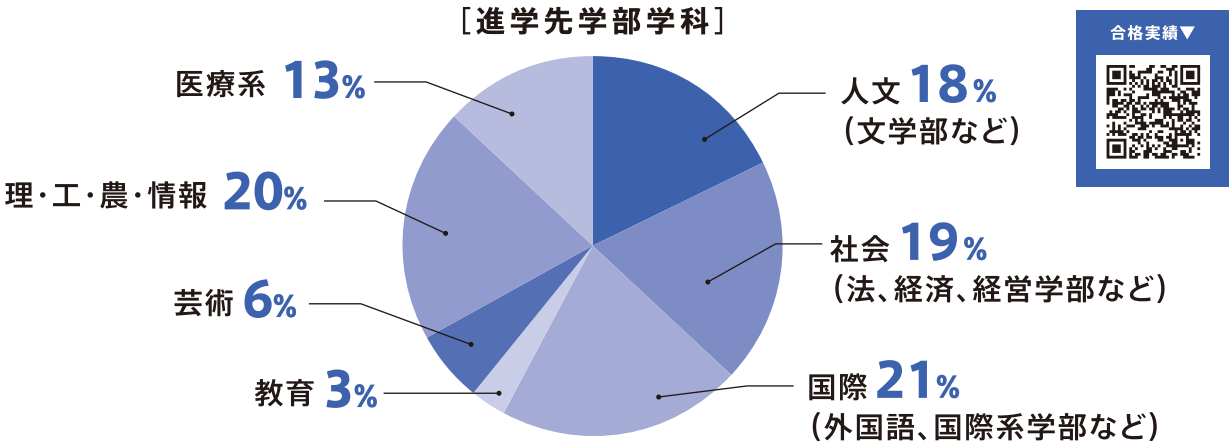
難関私立大学※ 32名

慶應義塾大学 上智大学 青山学院大学
立教大学 中央大学 法政大学 学習院大学
国際基督教大学 立命館大学 など

※「早慶上理」、「GMARCH」、「関関同立」、ICU

海外大学 13名

マンチェスター大学 リーズ大学
シドニー大学 西オーストラリア大学
など



東北大学 工学部
材料科学総合学科
菅野 史絵理
国際教養クラス 2025年3月卒業

鳴子スタディツアーをきっかけに広がった世界。

高校1年の夏に東北大学のオープンキャンパスに行き、材料科学総合学科が志望校になりました。材料が社会に与える影響や、大学の素晴らしい施設に魅了されたのだと思います。翌年には、鳴子スタディツアーに参加したことがきっかけで、「東北大学発地域課題解決アントレプレナーシッププロジェクト」に参加。

私にとっては大きなチャレンジでしたが、この経験により苦手だったプレゼンテーションや人前で話すことができるようになりました。受験勉強は高校2年までは隙間時間も活用、部活引退後は毎日10時間は勉強しました。大学では勉強はもちろん、サークルや国際交流にも参加したいと思っています。

横女生的1日 A Day at YOKOJO

月曜日から金曜日は5時限、土曜日は4時限とし十分な授業時間を確保して、真の「力」を培うプログラムを実施します。教科学習をはじめ、ホームルームや放課後の委員会活動、部活動など、多彩なタスクに生き生きと取り組み、学院生活を謳歌しています。



年間スケジュール Schedule

全力で挑戦する校風のもと、一年を適切なタスクで満たしています。責任をもって自分の役割に取り組む経験、いくつもの役割を切り替えながら集中して成し遂げていく経験を重ね、自分を知り、達成感を味わい、世界で求められる女性としての力を培っていきます。

4月

入学式 / 1学期始業式
中1・中2八学会 / イースター礼拝

5月

芸術鑑賞会 / CBU語学留学(3ヵ月)
ペンテコステ礼拝 / 1学期中間試験
高3八学会 / 鳴子スタディツアー /
ブータンスタディツアー

6月

花の日礼拝 / 体育祭

7月

1学期期末試験 / 1学期終業式
アメリカ海外セミナー / 部活動合宿 / 夏期講習
中3 ニュージーランド海外セミナー(国際教養クラス)

8月

夏期講習
中3 ニュージーランド海外セミナー(アカデミッククラス)

9月

2学期始業式 / 合併創立記念日
合併創立記念礼拝 / コーラスコンクール

10月

宗教改革記念礼拝 / 2学期中間試験

11月

なでしこ祭(文化祭) / クリスマスツリー点灯式
収穫感謝礼拝 / 対馬スタディツアー

12月

2学期期末試験 / 高2総合セミナー(京都・広島)
クリスマス礼拝 / 2学期終業式

1月

3学期始業式 / 20歳を祝う会
中2・3百人一首カルタ会 / 生徒会役員選挙

3月

高校卒業式 / 3学期期末試験
3学期終業式 / 台湾海外セミナー



7・8月 | 中3ニュージーランド海外セミナー



4月 | 入学式



4月 | 中1・中2八学会



6月 | 体育祭



9月 | コーラスコンクール



11月 | なでしこ祭



12月 | クリスマス礼拝



1月 | 百人一首カルタ大会



3月 | 卒業式



部活動 Club Activities

仲間と泣き、笑い、大切なことを学ぶ

文化部17部、運動部8部があり、「教科学習との両立」をテーマに練習計画を立てています。コンクールや試合で結果を出すことはもちろん、先輩・後輩の上下関係、自らの役割に対して責任を果たすこと、優先順位のつけ方など、大切なことを6年間で学びます。

運動部 バレーボール部／バドミントン部
バスケットボール部／体操部／ダンス部
ソフトテニス部／ソフトボール部
チアリーディング部

文化部 演劇部／文芸部／理科部／美術部
YCA部／数学研究会／書道部
煎茶道部／茶道部／イラスト部
華道部／写真部／コーラス部
調理部／吹奏楽部／自然部
パソコン部

同好会 スポーツ同好会

ゼミ 宇宙ゼミ／模擬国連ゼミ

生徒会活動

■ 生徒主体で取り組む各種活動

共に生きる喜びを体感する共生教育の一環として、生徒会活動は生徒が主体となって取り組みます。学年を超えた活動の中でリーダーシップや社会性などを育成します。

- ・生徒会役員会
- ・学級委員会
- ・CS委員会
- ・図書委員会
- ・健康委員会
- ・放送委員会
- ・美化委員会
- ・整備委員会

■ 行事を運営する実行委員会

本校の学校行事やボランティア活動は、すべて生徒が主体となって実施しています。大きな学校行事は体育祭となでしこ祭(文化祭)。体育祭は運営委員会、なでしこ祭(文化祭)は実行委員会が中心となり、部門ごとに役割分担をして、約半年間、力を合わせて準備を重ねています。

「宇宙ゼミ」始動!

宇宙を舞台に探究活動を行い、論文の執筆や学会での発表を目指す「宇宙ゼミ」。本気の探究にチャレンジしたい生徒が集まっています。



制服 Uniform

横浜の空と海をモチーフにした、明るく爽やかなデザインの制服です。高校生はブレザーの胸エンブレムとボタンがゴールド、中学生のブレザーはシルバーになっています。生徒たちはアイテムを自由に組み合わせて、着こなしのバリエーションを楽しんでいます。

襟のデザインが特徴の
伝統のブラウス。

白シャツには
紺のスカートを組み合わせ。

動きやすいデザインで、
組み合わせも楽しめます！

グレーチェックのスカートで
着こなしの幅が広がります。

冬服

ブレザーとセーター、2色のブラウスとスカート、
スラックスを自由に着こなします。

スラックス

ストレートラインのスラックス。
防寒や動きやすさで人気です。

ブラウスは
長袖と半袖があります。

気温に合わせて
ベストを着用。

紺とサックスの
2色あります。

ポロシャツ × キュロット

「フクソー」デザインのおしゃれな準制服は、
生徒たちにも大人気。

フクソーのロゴをつけていて、
制服らしくなくて好き！

夏服

2色のブラウスとポロシャツ、スカートと
キュロット、ベストからコーディネート。

体育服

授業中の運動しやすさを考えた体育着。

施設紹介 Facility

約150年前、日本で初めてキリスト教バプテスト教会が設立された山手の丘に建つ横浜女学院。
季節の花々で彩られ、晴れた日には富士山を望む恵まれたロケーションです。校内は最新設備
が整った学習環境で、生徒たちの知的好奇心と可能性を豊かに広げています。



本館教室



新館教室



体育館教室



「すざ」と「あく」を用い、人工的な塗料
などには使用していない。机と椅子で学習を進めます。



南棟教室



体育館



南棟音楽室(多目的ホール)



理科室



晴れた日は
富士山が見えます！



進路指導室



調理室



自習室



メディアセンター



作法室



春には
桜が咲き誇ります！

12月には
クリスマスツリーが彩ります！



成長と飛躍の6年間に。

Seek the highest. 高みをめざせ。横浜女学院の生徒たちの6年間の成長を、これほど表している言葉はありません。高い目標に向かって、チャレンジを続ける。試行錯誤しながらも、勇気をもって進んでいく。彼女たちの瞳は輝いています。自分は何が好きなのか、何をしたいのか、そのためには何が必要か。自ら気づき選択し心を決めることは、無限のエネルギーを生み出します。ある生徒は世界の同世代と語り合うことで、ある生徒は海洋汚染の現状を目の当たりにすることで、また、ある生徒はニュージーランドの人々の多様な生き方に触れることで、自らの関心領域や使命に気づき、大学を含めた進路を切り拓いていきます。その飛躍は時に教職員の予想を超えるほど高く、遠くへ。我々は全力でサポートしつつ、学ぶことの素晴らしさをあらためて実感しています。もちろん、目標も、それを見出すタイミングも一人ひとり違います。だからこそ、毎日の授業や年間行事はもちろん、探究プログラムや土曜チャレンジ、国内外で実施するスタディツアーなど、経験と気づきの場をふんだんに用意しています。未知の世界や価値観と出会う生徒たちを支えているものは、失敗しても大丈夫だという安心感。それは「自分は無条件に愛されている特別な存在である」と知ることから生まれるものです。失敗を恐れず、自らの可能性を信じ、挑戦することを通じて自分自身を理解し、愛すること。そして他者も同じく尊い存在であることを知り、思いやりを深めること。AIなどの技術の進化により急激に変化する世界にあっても、「人は人の中でこそ育つ」ことは変わりません。横浜女学院は、時代の変化に積極的に対応しながらも、教育の本質をなにより大切に為すべきことを実現していきます。聖書を基盤とした横浜女学院の教育は人生の基盤となります。12歳から18歳の6年間は、かけがえのない時間です。その日々は何を感じ、学び、見出していくか。それはきっと人生の幸福につながっていくものであるはずです。未来の扉がここにあります。あなたをお待ちしています。

学校長 平間宏一

3つの教育理念 「愛と誠」の人間教育

学習指導

可能性を伸ばし、
人生を豊かにする
知性と感性を
深める

共生教育

個性を尊重し
信頼と友情を築き
共に生きる喜びを
高める

キリスト教教育

聖書の教えを学び、
礼拝とキリスト教行事を通して、
いつの時代にも通じる
真実の生き方を求める

校訓「愛と誠」

「愛と誠」は生きる力の基であるイエス・キリストの教えである。いつも感謝をささげ、神さまに信頼をおき、絶えず希望を持つことにより、生きる喜びが与えられる。

校章

父・子・聖霊の三位一体と信仰の盾を図案化したもので、イエス・キリストの十字架に示された校訓「愛と誠」の教えを表している。



沿革

横浜女学院は、1886(明治19)年創立の横浜千歳女子商業学校と1943(昭和18)年創立の神奈川女子商業学校を、金子正先生が太平洋戦争の戦禍からの再興のために1947(昭和22)年の合併創立により誕生しました。前史をさかのぼれば130年を超える伝統を有しています。日本プロテスタント発祥の聖地である山手の丘の上、豊かな緑の生命感の中で女子教育を行ってきました。



Q&A

受験生の皆様から寄せられるご質問にお答えします。

キリスト教教育

- Q **キリスト教主義の学校とはどういうことですか。**
- A イエス・キリストの教えに基づいて教育を行う学校のことです。「プロテスタントのキリスト教精神による女子の人間教育を行う」を建学の精神として掲げ、聖書こそ人間を創る真実の教えであると信じ、イエス・キリストの教えである「愛と誠」を校訓としています。自分を愛するように隣人を愛することのできる人になってほしいと願い、教える者も教えを受ける者も、主による「感謝・信頼・希望」を重んじています。

- Q **教会には必ず出席しなくてはいませんか。**
- A 日曜日の教会出席を奨励していますが義務ではありません。聖書科の課題として教会出席レポートがあります。通う教会については特に指定はなく、授業の中で紹介をしています。

- Q **キリスト教については全く知りませんが、大丈夫でしょうか。**
- A ご心配ありません。ご家庭での宗教・宗派につきましては問いません。毎朝の礼拝や6年間必修である「聖書」の授業を通して、キリスト教の教えを学んでいきます。PTA活動の一環として、保護者のための「聖書に親しむ会」も開催しています。

学校生活

- Q **いじめはありますか。**
- A 学校は大勢の生徒が共に生活する場所です。精神的に成長途中にある生徒たちですから、友人間のトラブルは避けては通れないと思います。そのトラブルを乗り越えて、自分たちで解決する力をつけていくことが理想だと考えています。万一、生徒が「いじめ」と感じているならば、それは「いじめ」だと認識し、カウンセリングや保護者の方との面談、関係した生徒との対応など、解決するまでサポートします。

- Q **不登校者はいますか。**
- A 現代社会の学校教育にあって、避けて通ることのできない問題だと思えます。このような生徒には、時間をかけて話を聞き、心を解放できるように努めます。具体的にはご家庭との連携を大切にしつつ、全職員が一体になって問題と向き合います。「心に重荷を負っている生徒」が、自らその重荷を乗り越えて、解決できる力を身につける指導が大切だと考えています。

- Q **カウンセリングの先生はいますか。**
- A 専任のカウンセラーが常駐しています。カウンセリングルームでの面談は全て予約制で、生徒のプライバシーを守りながらカウンセリングを行います。養護教諭・共生教育の教諭も組織的・積極的に指導をします。

- Q **携帯電話の扱いはどうなっていますか。**
- A 平均1時間をかけて通学している生徒の事情などを考慮した場合、携帯電話を全面的に禁止することは正しいとは思えません。使い方の講座等で利用の仕方やマナーを指導し、学校内では電源オフをルールとして許可しています。

- Q **保護者の面談はありますか。**
- A 生徒を交えて担任と三者面談を行い、学校生活の様子や学習のことなどを中心にお話します。

- Q **カフェテリアはありますか。**
- A カフェテリアはありません。昼食は、アプリからお弁当を注文できるシステムやコンビニ、自動販売機での購入もできます。

- Q **校則は厳しいですか。**
- A 規則で縛るのではなく、生徒自ら考え判断することが大切だと考えています。知性と品性を備えた自律した女性になってほしいとの願いを持って教育をしています。その願いは浸透しており、生徒たち自らが横浜女学院の伝統を守っていくという気持ちでいます。

- Q **学校行事と学習との両立は大丈夫ですか。**
- A 教科で得た知識を活用する場、また学習の目標として行事を重視しています。行事は盛んで、それぞれ実行委員会が設立されるため勉強との両立は大変です。しかし、その大変さから時間の使い方を学び、体得した責任感や自立心は学習面での上向きにつながります。そのことを踏まえた上で指導をしているのでご安心ください。

部活動

- Q **部活動は全員参加ですか。**
- A 部活動の参加は任意ですが、共生教育の一環として大いに奨励している結果、中学生・高校生ともに100％に近い加入率です。上級生と下級生の縦の繋がり、同級生と協力する時間は、机上での学習では得られない素晴らしい経験になっています。

- Q **部活動の人間関係の様子を教えてください。**
- A 中高一緒に活動します。所属する部に対する誇りを持っているため、上級生と下級生の縦の絆がしっかりと結ばれています。上級生の優しさに触れた生徒が「自分も下級生から憧れられるような先輩になりたい」と願うことも少なくありません。

- Q **勉強と部活動の両立を、どのように指導していますか。**
- A 部活動を、勉強ができない逃げ道にしないのはもちろん、やるからには両立できるのが当然という思いが皆にあります。毎日の宿題や小テストなどをきちんと行うことで、部活動と学習の両立が図れます。日曜日は公式大会参加のみ許可しています。

- Q **人気のある部活動、実績を出している部活動はありますか。**
- A 運動部では全国大会で上位入賞したチアリーディング部をはじめ、ダンス部、ソフトテニス部、バドミントン部に人気があります。文化部では吹奏楽部、書道部、調理部、コーラス部が人気です。仮入部の期間を設け、自分に合う部活動を選ぶよう配慮しています。

学習指導

- Q **今まで英語を勉強していませんが、ついていきますか。**
- A 授業では基礎から丁寧に学習を積んでいきますから何の心配もいりません。授業に集中し、宿題にしっかり取り組むことで、実力が十分についていきます。
- Q **宿題やテストについての方針を教えてください。**
- A 中学1年時は、約1時間半の家庭学習の習慣づけを目指します。小テストや宿題などが1週間の中で必ず予定されています。学年や教科の教師が互いに宿題の量などを確認しながら出しています。

- Q **入学後も塾に通わなければなりませんか。**
- A 中学時代は授業に集中し、宿題や予習・復習を行えば十分なカリキュラムになっており、基本的に塾は必要ありません。授業の疑問点などは壁のない職員室で各教科の教員が個別に指導し、学習センターでの自習ではチューターがサポートする体制です。さらに学校では年間を通しての進学講習や長期休業中の講習会があり、多くの生徒が参加しています。

- Q **勉強についていけない生徒にはどのように対応していますか。**
- A 放課後の補習を行っています。補習は希望制のものや指名制のものがあり、指名制の補習には定期テストの結果を見て担当教員から声をかけます。また、希望制の補習では基礎の定着から発展的な内容まで、生徒の到達度に合った指導で実力を伸ばします。

PTA

- Q **PTAの活動はどのようになっていますか。**
- A お娘様の成長をサポートしていくためには、学校とご家庭の連携は欠かせません。その一つとして、PTA活動を行っています。クラス懇親会、ハンドメイド活動などを開催し、保護者同士の親睦も図っています。文化祭では、生徒たちと直接的に関わりながら、バザーや模擬店のご協力をいただきます。父親のための「Father's Club」もあり、力強い支援と親睦の輪が広がっています。PTA活動への参加は強制的なものではなく、皆様無理のない形で活動しています。

その他

- Q **海外転動に伴い転校した場合、帰国後に復学はできますか。**
- A 国内、国外問わず一度入学した生徒が保護者の転動などの理由で他校に移る場合は、二重学籍となるため転学・退学になります。数年後に復学を希望する場合は、転編入という形で認めています。
- Q **長期留学中に習得した単位は認定されますか。**
- A 本校の提携校への留学中に習得した単位はすべて認定し、帰国後は進級を認めます(高校1年生で留学した場合は、帰国後2年生に進級します)。

防災・安全対策

地震対策

横浜女学院は丘の上にあるため大地震による津波に対して安全と考えられ、擁壁は国によって補強工事が行われています。校舎の耐震性については、1995年の阪神淡路大震災後に耐震調査を行い、問題を指摘された校舎の建て替え、改修を行いました。2011年の東日本大震災の際には全く問題ありませんでした。

災害時の対策

万が一、帰宅困難になった場合に備えて、全生徒用に3日分のサバイバルキット(飲料水・食料・保温シート)、寝袋、簡易トイレなどを常備しています。通学途中で被災した場合に備え、複数のチェックポイントを設定。学校最寄りの石川町駅には集合場所を決めて教職員が見回りにいく計画になっています。



横浜女学院
サバイバル
キット

学費・制服・指定用品など

■ 2025年度学費(中学1年) ※2026年度は変更になる場合があります。

	国際教養クラス		アカデミッククラス	
	年額	月額	年額	月額
授業料	552,000円	46,000円	432,000円	36,000円
維持費	156,000円	13,000円	156,000円	13,000円
小計	708,000円	59,000円	588,000円	49,000円
PTA会費	12,000円	1,000円	12,000円	1,000円
後援会費	2,400円	200円	2,400円	200円
生徒会費	7,200円	600円	7,200円	600円
小計	21,600円	1,800円	21,600円	1,800円
合計	729,600円	60,800円	609,600円	50,800円
行事および教材費(預かり金)	※			

■ 制服・指定用品・教科書・教材などの費用

品名	対象	価格(税込)	内容
正制服等	全員	約75,000円 (各1点の合計価格)	ブレザー・スカート、夏スカート(濃紺チェック)、スラックス(任意) 白ブラウス(長袖・半袖)、黒ストッキング 通学靴、ソックス(スポーツ・紺ハイソックス)
準制服	任意	約90,000円 (各1点の合計価格)	替スカート(グレーチェック)、紺セーター、ブルーブラウス(長袖・半袖)、 ベスト(紺・サックス)、ボロシャツ(白・紺)、ラップキュロット
コート	任意	約24,000円	紺シングルコート、紺ダッフルコート
指定用品 体育着	全員	約52,000円 (各1点の合計価格)	バッグ(通学用・校内用) ジャージ(上・下)、体育着(長袖・半袖)、スポーツシューズ
教科書	全員	無償	
副教材	全員	約25,000円	各教科副教材(書籍)
聖書・賛美歌	全員	約6,500円	聖書協会共同訳／讃美歌21
ICT教材	全員	約160,000円	情報端末

防災委員会

災害は、時間と規模により臨機応変の対応が求められます。そのためにもシミュレーションと備えが欠かせません。横浜女学院では防災委員会がマニュアルを作成し、防災対策を練っています。

防災訓練

年に3回実施する防災訓練では、初期避難の他、通常の登下校とは違うルートで帰宅する迂回路確認も行っています。また、併設の横浜学院幼稚園との合同防災訓練も実施しています。

緊急時の連絡

非常用電源を備え、避難ネットワークを活用します。ホームページでも最新情報をお知らせしていきます。

防犯・安全対策

正門には守衛が常駐し、オートロック式の開閉門を設置。校内要所に設置した防犯カメラで録画、職員室と事務室のモニターで確認し、各教室には緊急電話を完備しています。さらに警備保障会社との契約による不審者対策、警察官OBのスクールサポーターによる学校周辺の巡回、メディアによる安全情報などを利用。さまざまな手段で学校生活の安全を守っています。

[注意]金額は変更になる場合がございます。

※教材費および校外学習その他の費用です。
2025年度の金額は150,000円です。
2026年度の金額は入学時にお知らせします。

○授業料等校納金は、在学中に改定される場合があります。
○学費の納入は銀行口座振替制です。
納入回数は年2回の分納(5・9月)、または月払いが選択できます。
○教育振興費(任意寄付金)として1口5万円、2口以上を募集します。

■ 奨学金制度

成績優秀者、および在学中に経済的理由により学業を続けることが著しく困難になった生徒に対して、横浜女学院独自の奨学金制度があります。詳細は、お問い合わせください。